

スマートシティたかまつ推進協議会 令和7年度年次総会



令和8年2月25日
スマートシティたかまつ推進協議会事務局

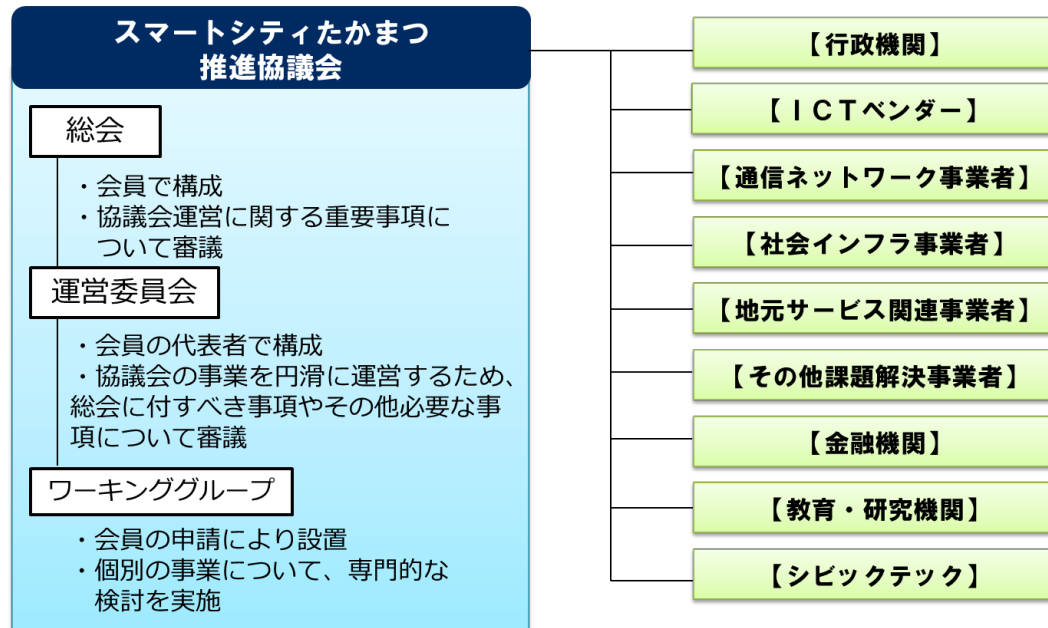
令和7年度 事業報告

1. スマートシティたかまつ 推進協議会の活動状況

2017年10月に、産学民官の多様な主体の連携を通じて、IoT共通プラットフォームを活用した、官民データの収集・分析による地域課題の解決を目指し、スマートシティたかまつ推進協議会（会長：高松市長）を設立。（会員数：2026年2月現在 159者）

協議会内に各分野ごとにワーキンググループ（WG）を組成し、産学民官が連携して、課題の整理から始め、実証事業を重ねながら、社会実装を目指した取組を進めている。

また、市民参加型のスマートシティを目指し、協議会として、人材育成講座の開催など、普及啓発活動を実施している。



協議会会員一覧（1 / 4）

○会員 159 者、オブザーバー 3 者(2026 年 2 月現在)

赤字は今年度入会会員



スマートシティたかまつ推進協議会

【行政機関】

高松市
総務省(オブザーバー)
経済産業省(オブザーバー)
香川県(オブザーバー)

【ICTベンダー】

日本電気(株)四国支社
富士通Japan(株)香川支社
(株)セールスフォース・
ドットコム
(株)日立システムズ四国支社
(株)富士通四国インフォテック
T I S (株)
リコージャパン(株)香川支社
NTTコミュニケーションズ(株)
L I N E (株)
アライドテレシス(株)四国支社
インテル(株)
(株)トラストバンク

(株)マチマチ
富士ソフト(株)
(株)NTTデータ四国
N D I ソリューションズ(株)
四国事業本部
三菱電機株式会社 四国支社
(株)テクノプロ
テクノプロ・IT社 高松支店
中央コンピューター(株)
高松事業本部
アマゾンウェブサービス(同)
(株)両備システムズ
キンドリルジャパン (株)
キンドリルジャパン・
テクノロジーサービス(株)
日本アイ・ビー・エムデジタル
サービス (株)
(株)K・システムソリューション
(株)四国電子計算センター

【通信ネットワーク事業者】

(株)S T N e t
西日本電信電話(株)香川支店
ソフトバンク(株)
KDDI まとめてオフィス
西日本(株) 四国支社
(株)NTTドコモ 四国支社

【社会インフラ事業者】

四国電力(株)
高松琴平電気鉄道(株)
(株)四国ガス高松支店
高松空港(株)
全日本空輸(株)
NTTインフラネット(株) 香川支店

スマートシティたかまつ推進協議会

【地元サービス関連事業者】

(株)ミトラ
(一財)百十四経済研究所
高松丸亀町商店街振興組合
サイテックアイ(株)
(株)D y n a x T
(株)イノベイト
(株)フソウ
エフエム高松コミュニティ放送(株)
Plus Image

(有)ケノヒ
カトーレック(株)
(株)ロジック
アイディオ(株)
(株)みどり医療経営研究所
(株)みどりデジタルサポート
セーラー広告(株)
三電計装(株)
シティ興産(株)
穴吹エンタープライズ(株)
(株)穴吹ハウジングサービス

シンボルタワー開発(株)
(株) AsKey
(株) Dreamly
高松商運(株)
新日本建工(株)
(株)四航コンサルタント
高松タクシー協会
(株) i-Link
(株)トラベルビジョン
(株)四電工
(株)ミヤプロ
(株)マモルケン
(有)ハウト
(株)リレーションアルファ
西日本放送サービス(株)
(株)日栄建設
(株)ゼムス
(特非)わがこと

【金融機関】

(株)百十四銀行
(株)香川銀行
損害保険ジャパン(株) 高松支店
(株)三井住友銀行高松法人営業部
三井住友海上火災保険(株)
東京海上日動火災保険(株)
あいおいニッセイ同和損害保険(株)
SOMPOホールディングス(株)
SOMPO Light Vortex (株)
住友生命保険相互会社
(株)みずほ銀行

【教育・研究機関】

国立大学法人香川大学
独立行政法人
国立高等専門学校機構
香川高等専門学校
高松大学
学校法人穴吹学園

【シビックテック】

Code for Sanuki
I o T A L G Y A N 香川支部
学生団体koi-koi

スマートシティたかまつ推進協議会

【その他課題解決事業者】

(株)福山コンサルタント
(一社)データクレイドル
総合警備保障(株)香川支社
(一社)日本自動車連盟香川支部
出光興産(株)
(株)電脳交通
協和テクノロジー(株)
(株)電信
(一財)日本気象協会四国支店
(株)協和エクシオ四国支社
TOPPAN(株)
(特非)ITS Japan
日本工営(株)四国支店
(株)日本新電力総合研究所
三信電気(株)
ARPA WebConsulting
三菱UFJリサーチ&
コンサルティング(株)
xID(株)
(同)側用人
アクセンチュア(株)

(株)中国四国博報堂高松支社
三井物産(株)四国支社
(株)電通西日本高松支社
(株)AZOO
(株)JTB高松支店
(株)LCNEM
フォーティネットジャパン
合同会社
(株)フジ
フェリカポケット
マーケティング(株)
イオン
フィナンシャルサービス(株)
イオン
クレジットサービス(株)
コスモ石油マーケティング(株)
(一社)キラメキ社会福祉士事務所
アジア航測(株)四国支社
(株)日立製作所四国支社
(株)アーク・ジオ・サポート
(株)エム・エイチ・アイ
四国通建(株)高松支店

(株)スマートコントラクト・
イニシアティブ
(一社)スマートコントラクト推進協会
(一社)給与デジタルマネー払いに伴う
DX推進機構
(株)Donuts
(株)Liquitous
(株)Geolonia
パシフィックコンサルタンツ(株)
四国支社
(株)Casa
ヤマト運輸(株)香川主管支店
八千代エンジニアリング(株)
四国統括事務所
(株)WeBASE
(株)Flight PILOT
(株)Secual
(株)ギガプライズ
(株)WE
(株)Y4.com
GVE(株)
(一社)One Smile Foundation

スマートシティたかまつ推進協議会

(特非)ブロードバンドスクール協会
(有)コンティニュー
(株)ベルシステム24
かがわオリーブキッズ（NPO法人ミライキッズ）
Olive株式会社
ネポン株式会社
株式会社スウェルデザイン
KBN株式会社
株式会社ケーブルメディア四国

令和7年度 スマートシティたかまつ推進協議会の活動状況

運営委員会開催実績（令和7年度）

月 日	活 動	主な内容
5月27日	第30回運営委員会	・ 令和6年度ワーキンググループ活動報告 ・ スマートシティたかまつ推進協議会の活性化について ・ 事務局からの報告等
8月28日	第31回運営委員会	・ 地域課題解決プロジェクトについて ・ スマートシティたかまつ推進プラン取組状況について ・ 事務局からの報告等
11月28日	第32回運営委員会	・ 地域課題解決プロジェクトについて ・ 新規WG(生成AIを活用した買い物サービスWG)設置について ・ 事務局からの報告等
1月29日	第33回運営委員会	・ 年次総会について ・ 事務局からの報告等

2. 各ワーキンググループ における取組状況

活動ワーキンググループ（令和7年度）		
名称	活動期間	検討内容
人材育成環境向上WG	令和元年5月～	R6年度まで実施していたデータ利活用人材の育成のための企画（講座）内容の高度化・それら育成講座から、実証事業や社会実装へつなげるための手法を検討。
データ利活用による決済DX WG	令和6年8月～	商店街DXを推進し、継続的なレシートデータ収集・分析体制と効果指標に基づくPDCAを確立。データに基づく来客数・売上向上につながる事業スキームを確立。
生成AIを活用した買い物サービスWG	令和7年12月～	高松市における地域課題（高齢化に伴う買い物弱者支援、子育て世帯の負担解消等）の解決に向けて実証的な取組を行い、実態・満足度データ等から有用性を検証。

アイデアソン・ハッカソンなどの手法・内容等や、実証事業・社会実装に向けた協議会としての支援の仕組みについて検討し、ICT・データ利活用人材の育成環境の向上につなげる。改善した手法・内容等でアイデアソン・ハッカソンなどを開催し、企画内容等の高度化、参加者の増加を実現する。

人材育成講座の開催

ワーキンググループメンバー

香川大学、香川高等専門学校、e-とぴあ・かがわ、香川県、IoT ALGYAN、Code for Sanuki、日本電気（株）、高松市

【講座1】 まちのデータ研究室

地域課題に関心の高い人材と、技術が得意な人材を交流させ、主にIT活用の面やコミュニケーションの面でサポートすることによって、市民協働による新たなサービス創出を促進する。

(6/14、7/5、7/6～7/18、7/19、7/20～9/5、9/6)

【講座2】 かがわeかみしばいコンテスト

地域課題に関心の高い人材の発掘と、彼らのIT活用機会の創出。
(募集～10/15、表彰11/15)

【講座3】 Web×IoTメイカースチャレンジ PLUS in 香川

技術が得意なシビックテック人材の発掘と、地域課題に対して技術を適用する場の創出。技術講習会・アイデアソン・ハッカソンの開催。
(9/27、10/18、10/25、11/1、11/8、12/13)

3つのプログラムを有機的に連携することで、効果的なデータ利活用人材の育成手法を確立

購買データ利活用事業

高松市が推進するスマートシティ施策において、商店街活性化は都市の魅力創出と地域経済の持続性を左右する極めて重要なテーマです。本ワーキングでは、キャッシュレス決済・購買データを基盤として、以下の取り組みを実施し、商店街事業者の行動変容と自立的な経営改善を目指しております。

本事業の目的

- ① 商店街の来街客の購買データを可視化し、顧客の傾向を“数値で理解できる状態”にする
- ② データを基に、事業者が自ら改善策を考え実行する「自立的経営サイクル」を生み出す
- ③ 行政・民間・商店街の三者連携による、持続可能な商業振興のモデルを確立する

ワーキンググループメンバー

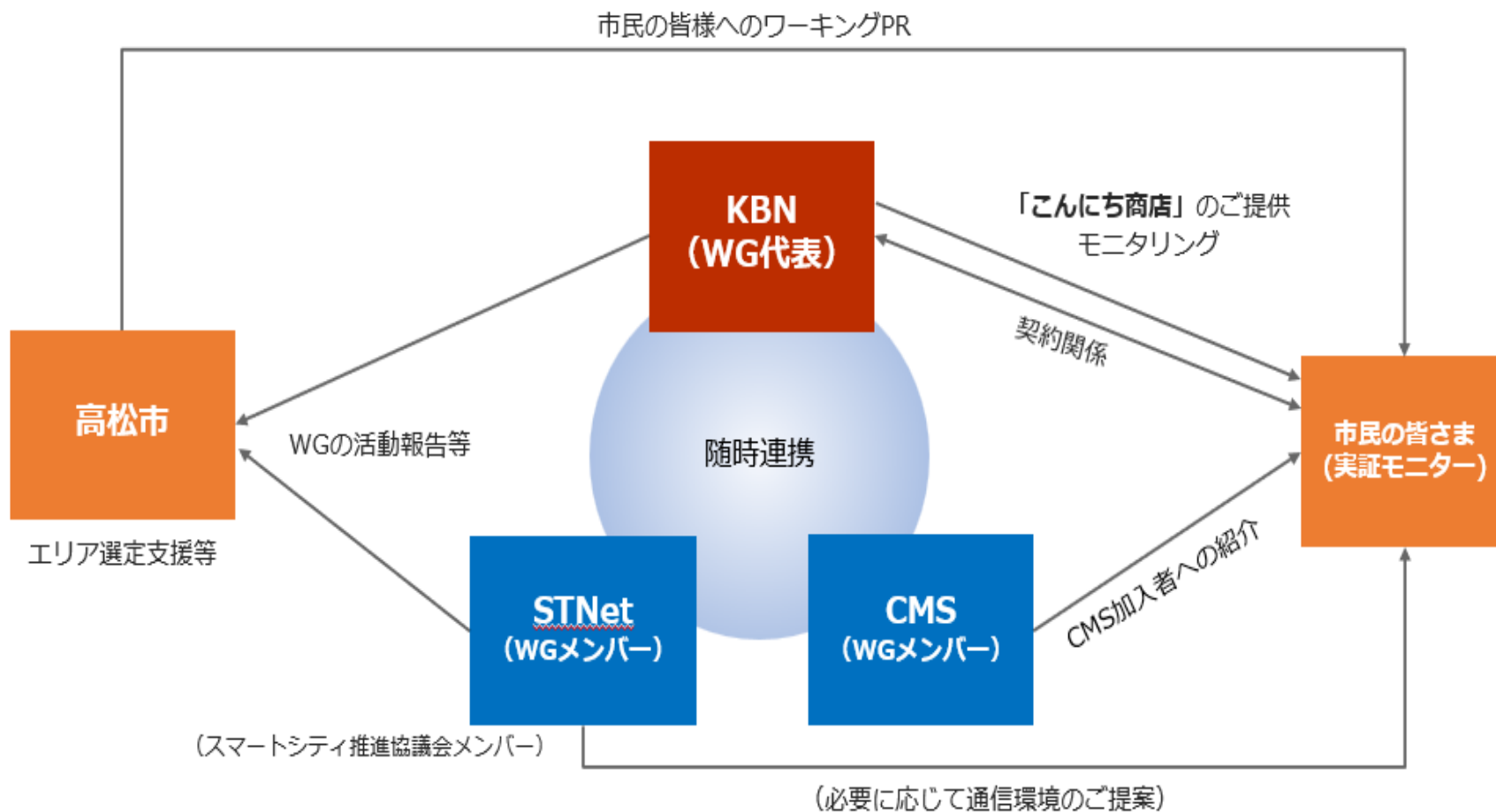
高松南部3町商店街プロジェクト、株式会社STNet、株式会社K・システムソリューション、日本電気株式会社(NEC)、イオンフィナンシャルサービス株式会社、株式会社リレーションアルファ、株式会社百十四銀行、西日本放送サービス株式会社、高松市デジタル戦略課、高松市産業振興課

打ち合わせ日時

	日程	内容
第1回	8月8日	香川高専でのデータ分析内容とWGの進め方協議
個別Mtg	9月12日	プロモーション計画について（西日本放送サービス株式会社）
個別Mtg	9月17日	データ分析方法の選定（株式会社K・システムソリューションズ）
個別Mtg	11月17日	商店街におけるデータ活用方法の検討（南部3町商店街）
第2回	11月19日	データ活用の目的とゴールについて ※概算見積提出
第3回（予定）	2月下旬～3月上旬	事業化に向けての最終検討

生成AIを活用した買い物サービスWG

地域課題（高齢化に伴う買い物弱者支援、子育て世帯の負担解消、地域商業の活性化等）の解決に向けて、KBN株式会社が提供する「生成AIを活用した買い物サービス（こんにち商店）」を活用した実証的な取組を行う。これにより、スマートシティの理念に基づく住民の利便性向上と、持続可能で快適な都市づくりへの活用可能性を検証する。

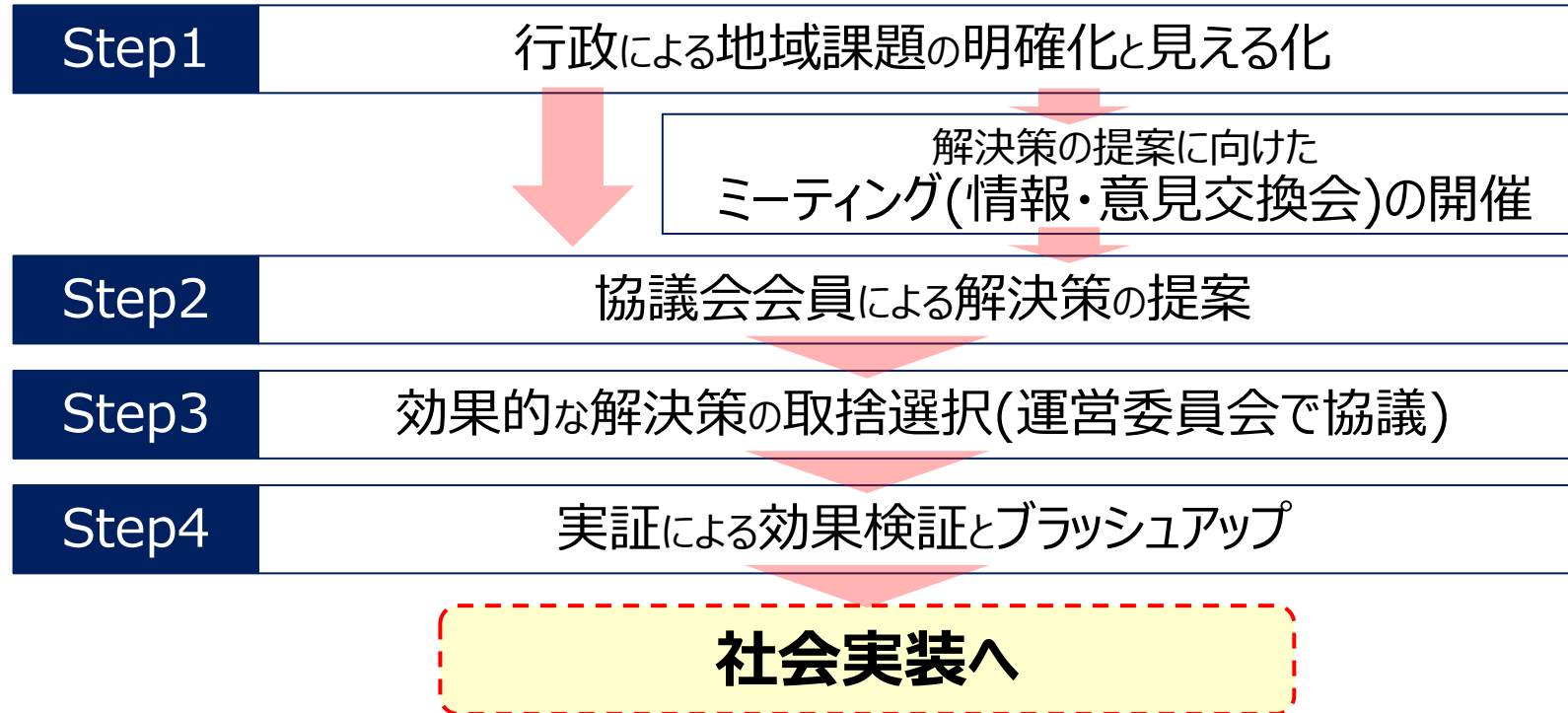


WGメンバー

- ・ KBN株式会社
- ・ 株式会社ケーブルメディア四国
- ・ 株式会社STNet
- ・ 高松市

3. 地域課題解決プロジェクト

地域課題解決プロジェクト



■ 協議会におけるさまざまな課題

No	議題名	担当課	現状と課題	ビジョンとの関連
1	シティプロモーションの推進	広報広聴・シティプロモーション課	・ R6年度、シティプロモーションの組織を設置し、取組を開始。 ・ シティプロモーションの関係部署が多く、連携、情報共有等が不十分。 ・ 市民や企業とも連携しながらシティプロモーションを推進する予定	③行政のDX
2	政策立案におけるEBPM	政策課 行政改革推進室	・ 総合計画に基づき、50万人規模の経済圏を目指して、効果的に事業を実施する必要あり。 ・ 新規事業にも取り組んでいるが、十分な効果測定による既存事業のスクラップが不十分。	③行政のDX ④人材育成と基盤強化
3	不登校児童生徒への支援	総合教育センター	・ 不登校児童生徒数が年々の増加。 ・ ひきこもり不登校児童生徒やその保護者へのアウトリーチや相談支援、学習支援が不十分。 ・ 福祉や医療等の関係部署との情報共有、意見交換など、関係者との連携が不十分。	①くらしのDX

令和8年度 事業計画

策定趣旨

人口減少、少子・超高齢社会の本格到来やデジタル技術の急速な進展など、本市を取り巻く社会情勢が大きく変化しており、今後においては、本市のスマートシティやデジタル戦略を社会全体で共有を図りながら、組織横断的に取組を推進することが求められているため、今後の取組における理念や目指すべき方向性を新たに定めた「スマートシティたかまつ推進ビジョン（2025～2031）」を策定します。

目指す姿

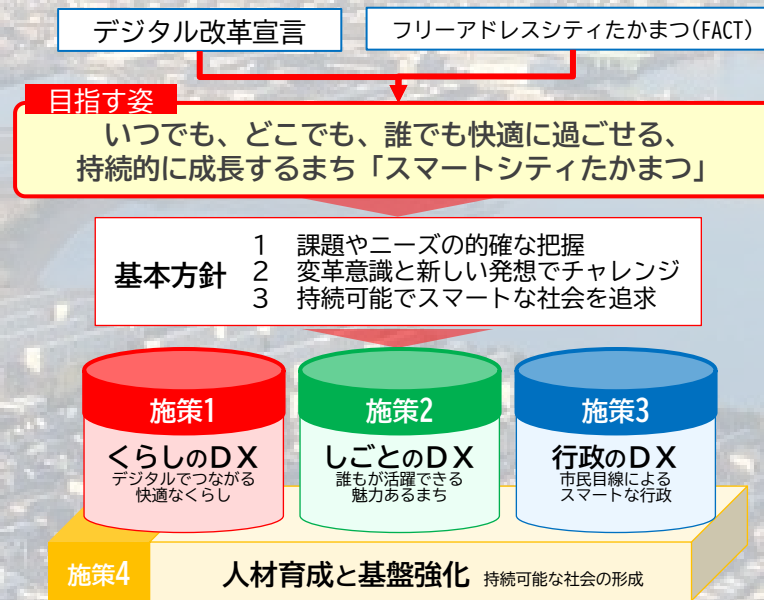
いつでも、どこでも、誰でも快適に過ごせる、
持続的に成長するまち「スマートシティたかまつ」

基本方針

- 1 課題やニーズの的確な把握
- 2 変革意識と新しい発想でチャレンジ
- 3 持続可能でスマートな社会を追求

施策体系

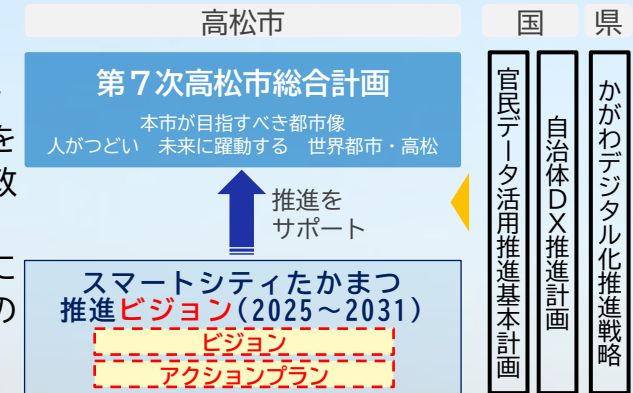
- 施策1 くらしのDX
～デジタルでつながる快適なくらし～
- 施策2 しごとのDX
～誰もが活躍できる魅力あるまち～
- 施策3 行政のDX
～市民目線によるスマートな行政～
- 施策4 人材育成と基盤強化
～持続可能な社会の形成～



位置づけ・計画期間

「第7次高松市総合計画」の分野別計画として、本市のデジタル関連施策を推進するに当たっての基本理念と行政運営の指針を明らかにするもの。

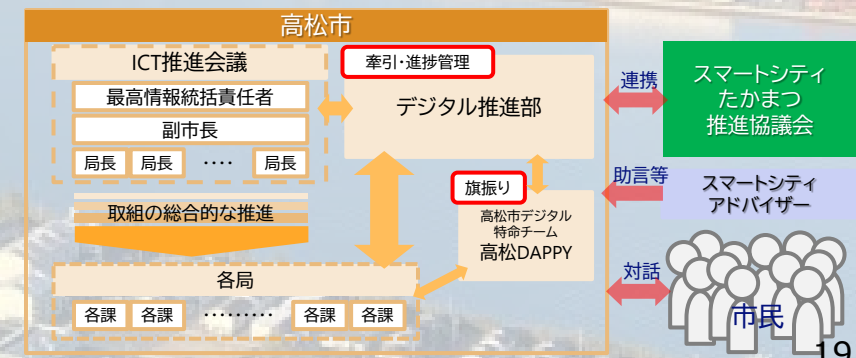
計画期間は、総合計画の終了年度に合わせ、2025年度から2031年度までの7年間とします。



計画名称	計画期間	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
高松市総合計画	R6～R13(8年間)	第6次									
スマートシティたかまつ推進ビジョン	R7～R13(7年間)		推進プラン (2022～2024)								

推進体制

本市全体のスマートシティやデジタル化に向けて、庁内横断的な取組を推進するとともに、スマートシティたかまつ推進協議会を始めとする産学民官の多様な主体と連携を図りながら取り組みます。



1 アクションプランの増減

施策	令和7年度 取組数	令和8年度 取組数	差引
施策1 暮らしのDX	9	11	+2
施策2 しごとのDX	8	7	-1
施策3 行政のDX	4	4	0
施策4 人材育成と基盤強化	8	8	0
	計 29	計 30	+1

2 施策体系 取組項目一覧

施策1 暮らしのDX

1	デジタル化による子育て環境の充実	こども保育教育課
2	ゼロカーボンシティの実現に向けたエネルギー利用の最適化	ゼロカーボンシティ推進課
3	DXを活用したごみの減量・資源化	ゼロカーボンシティ推進課 【新規】
4	地理空間データ基盤を活用したサービスの創出	都市計画課/デジタル社会基盤整備室
5	中心市街地の活性化に向けたデータ収集・分析	都市計画課
6	タクシーを活用した新たな交通モードの創出	交通政策課
7	駐車場の満空情報の収集と利活用	交通政策課
8	学校教育におけるデジタル化の推進	総合教育センター/ICT教育推進室
9	こどもの学びを地域で支える地域学習プラットフォームの利活用推進	デジタル戦略課
10	図書館のデジタル化・デジタルアーカイブの推進	中央図書館
11	美術館DXの推進	美術館美術課 【新規】

施策2 しごとのDX

12	市内中小企業等のデジタル化支援	産業振興課
13	情報通信関連企業の誘致	企業立地推進課
14	サテライトオフィスの誘致	企業立地推進課
15	スマート農業の推進	農林水産課
16	デジタルを活用した高松盆栽の普及事業	農林水産課
17	音声ガイドアプリを活用したコンテンツツーリズムの推進	観光交流課
18	屋島活性化に向けたデジタル活用	観光交流課/観光エリア振興室

施策3 行政のDX

19	市からの情報発信の高度化	広報広聴・シティプロモーション課
20	窓口DXの推進	デジタル戦略課/市民課
21	生成AI等の活用を見据えたソリューションの検討・導入・展開	デジタル戦略課/情報マネジメント課
22	地理空間データ基盤のデータ・機能拡充	都市計画課/デジタル社会基盤整備室

施策4 人材育成と基盤強化

23	デジタル化への職員の意識改革（デジタル人材の育成）	デジタル戦略課
24	デジタル化に対応した職員の情報セキュリティ意識の向上	情報マネジメント課
25	スマートシティたかまつ推進協議会との連携	デジタル戦略課
26	オープンデータの推進	デジタル戦略課
27	地域間連携の促進	デジタル戦略課/政策課
28	データ利活用人材の育成と人材コミュニティの創出	デジタル戦略課
29	地域コミュニティを中心としたデジタルデバйд対策	デジタル戦略課
30	地域コミュニティのデジタル化支援	協働コミュニティ推進課

3 施策別の取組内容

施策1 くらしのDX

1	デジタル化による子育て環境の充実	・ 保育現場のデジタル化 ・ 公立保育所等での保育業務支援システムの継続運用	こども保育教育課
2	ゼロカーボンシティの実現に向けたエネルギー利用の最適化	・ CO2排出量算定・開示及びCO2削減目標設定推進補助事業（仮称）の実施	ゼロカーボンシティ推進課
3	DXを活用したごみの減量・資源化	・ 新しいごみ分別アプリの構築・導入（移行） ・ リユース品・粗大ごみのマッチングメニュー検討	ゼロカーボンシティ推進課 【新規】
4	地理空間データ基盤を活用したサービスの創出	・ 水防アプリケーションの本格運用、機能拡充 ・ 交通系アプリケーションとイベントマップとの統合 ・ 地理空間データ基盤を活用した業務のBPR、サービスの検討	都市計画課 デジタル社会基盤整備室
5	中心市街地の活性化に向けたデータ収集・分析	・ カメラ計測による中心市街地の交通量データ収集・オープンデータでの公開	都市計画課
6	タクシーを活用した新たな交通モードの創出	・ タクシー配車アプリの導入支援 ・ バタクスサービス水平展開に向けた実証事業	交通政策課
7	駐車場の満空情報の収集と利活用	・ 駐車場満空情報アプリの運用 ・ 駐車場満空情報アプリへの民間駐車場の参画の促進	交通政策課
8	学校教育におけるデジタル化の推進	・ 学校教育におけるデジタル化の推進 ・ 教員へのICT活用研修 ・ 一人一台端末持ち帰り本格運用の推進に資するモデル校での実証研究 等	総合教育センター ICT教育推進室
9	こどもの学びを地域で支える地域学習プラットフォームの利活用推進	・ 放課後FACT-ory事業	デジタル戦略課
10	図書館のデジタル化・デジタルアーカイブの推進	・ 中央図書館リニューアルに伴うICタグや自動貸出機、セキュリティゲート等の導入	中央図書館
11	美術館DXの推進	・ 新チケットシステムの導入に伴うチケットのオンライン販売	美術館美術課 【新規】

3 施策別の取組内容

施策2 しごとのDX

12	市内中小企業等のデジタル化支援	・市内中小企業等のデジタル化の推進等に関する連携協定に基づく取組の実施 ・ITパスポート等取得に関わる支援補助金	産業振興課
13	情報通信関連企業の誘致	・企業誘致助成制度を活用した企業誘致活動	企業立地推進課
14	サテライトオフィスの誘致	・サテライトオフィス利用支援制度を活用したサテライトオフィスの開設支援	企業立地推進課
15	スマート農業の推進	・スマート農業システムの導入支援 ・システム検証の実施	農林水産課
16	デジタルを活用した高松盆栽の普及事業	・高松盆栽の普及施策検討	農林水産課
17	音声ガイドアプリを活用したコンテンツ ツーリズムの推進	・アニメ作品とコラボした音声ガイドアプリの運用及び活用方法の検討	観光交流課
18	屋島活性化に向けたデジタル活用	・屋島山上での自動運転バスの実装に向けた検討	観光交流課 観光エリア振興室

施策3 行政のDX

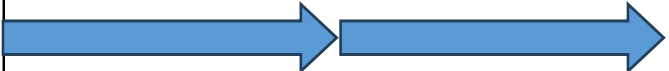
19	市からの情報発信の高度化	・市公式ホームページの改修	広聴広報・シティプロモーション課
20	窓口DXの推進	・スマホ市役所の導入・利用拡大 ・キオスク端末及び窓口DXSaaSの導入 ・AI電話の実証・本格運用	デジタル戦略課 市民課
21	生成AI等の活用を見据えたソリューションの検討・ 導入・展開	・業務改革に資する新たなツール等の調査、検討 ・新たな生成AIサービス等の導入の検討	デジタル戦略課 情報マネジメント課
22	地理空間データ基盤のデータ・機能拡充	・地理空間データ基盤へ登録する地図情報等の拡充検討 ・地理空間データ基盤のブローカー機能、ストレージ機能の開発、機能拡充検討	都市計画課 デジタル社会基盤整備室

3 施策別の取組内容

施策4 人材育成と基盤強化

23	デジタル化への職員の意識改革 （デジタル人材の育成）	・ ICTツール研修とDX研修の実施	デジタル戦略課
24	デジタル化に対応した職員の情報セキュリティ意識の向上	・ 情報セキュリティ研修 ・ 情報セキュリティ外部・内部監査、フォローアップ監査	情報マネジメント課
25	スマートシティたかまつ推進協議会との連携	・ 地域課題解決プロジェクト協議、ワーキング開催	デジタル戦略課
26	オープンデータの推進	・ オープンデータの拡充、拡充検討 ・ オープンデータ利活用を促進する仕組みづくり等の検討	デジタル戦略課
27	地域間連携の促進	・ 地域間で連携できるデータの収集・分析 ・ かがわDXLabワーキンググループへの参画	デジタル戦略課 政策課
28	データ利活用人材の育成と人材コミュニティの創出	・ スマートシティたかまつ推進協議会内「データ利活用人材育成WG」の継続 ・ たかまつKIDSプログラミングコンテストの開催	デジタル戦略課
29	地域コミュニティを中心としたデジタルデバйд対策	・ 地域コミュニティが行うデジタルデバйд対策の支援	デジタル戦略課
30	地域コミュニティのデジタル化支援	・ 地域コミュニティのデジタル化を支援する補助金	協働コミュニティ推進課

4 新規取組の具体的な内容

担当課	取組項目	現状・課題			取組内容			
ゼロカーボンシティ 推進課	DXを活用した ごみの減量・資源化	循環型社会の実現に向け、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）の2Rに取り組むため、プラスチック容器の使い捨てやフードロスの削減など、廃棄物の発生を抑え、資源の消費量を抑制するとともに、家電や衣類等のリユースを促進し、再資源化を推進する必要がある。 このため、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」を導入し、ごみの減量やリサイクルの推進、また、市民の利便性向上を図っているところである。近年、外国人居住者が増加する中、ごみ分別アプリの多言語化など、外国人にもわかりやすいごみ出しルールの周知が課題となっている。			対応言語を日本語を含めアジア圏を中心とした10か国語に拡大するほか、AIを活用した画像判別によるごみ分別案内機能を搭載した、新しいごみ分別アプリに移行し、外国人のみならず、高松市民全体の適切なごみの分別を図る。 さらに、同アプリ上で、リユース品や粗大ごみを必要とする人とマッチングできる機能の導入についても検討する。			
		スケジュール			目標値			
		R8年度	R9年度	R10年度	内容	R8年度	R9年度	R10年度
		ごみ分別アプリの構築・導入（移行）  ごみ分別アプリの運用継続			—	—	—	—
リユース品・粗大ごみのマッチングメニュー検討  ごみ分別アプリへリユース品・粗大ごみのマッチングメニューの導入			—	—	—	—		

4 新規取組の具体的な内容

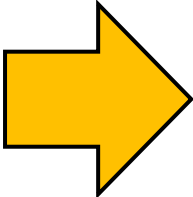
担当課	取組項目	現状・課題			取組内容			
美術館美術課	美術館DXの推進	高松市美術館では、チケットのオンライン販売は未対応であり、現状では紙チケットを現金又はキャッシュレス決済で販売している。取り扱う紙チケットの種類が多く、現場の職員にとって、管理が非常に煩雑となっている。 また、特別展前売券（紙チケット）の販売場所について、市内の数店舗に限定しているため、遠方からの購入希望者に対応できず、受付の混雑にも影響している。 加えて、入場者数の集計が全て手作業であるため、職員の負担が大きい状態である。			利用者の利便性向上を目的として、チケット（前売券及び当日券）のオンライン販売に取り組む。 また、同時に、従来の紙チケットを廃止してレシート方式のチケットに変更し、コード提示による入場認証システムを導入することで、よりスムーズな入場につなげるとともに、職員にとっても入場管理の負担軽減を実現する。			
		スケジュール			目標値			
		R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	内容	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度
		新チケットシステムの導入準備・運用開始 			オンラインチケット販売枚数	※40枚	3,100枚	3,200枚

※システム導入時期は、令和9年3月を予定している。

5 継続する取組の内容（抜粋）

令和7年度

取組項目	ゼロカーボンシティの実現に向けたエネルギー利用の最適化	担当課	ゼロカーボンシティ推進課
現状・課題	近年、全国各地で台風の巨大化や集中豪雨等による災害、猛暑が発生する等、生命や財産を脅かす「気候危機」と言われる状況にあり、被害の拡大を防ぐため、地球温暖化・気候変動に配慮した取組の検討が課題となっている。 本市が令和2年12月に宣言したゼロカーボンシティの達成を目指し、データを活用した省エネ・再エネ等の取組を検討する必要がある。		
取組内容	住宅や事業所等でのエネルギーマネジメントシステムの導入を促進し、電力使用量やCO2の排出量・削減量等の見える化を進め、住民や企業の省エネ等への行動変容を促す。 また、交通・産業等の分野へのデータ連携の拡大による見える化のさらなる拡大や、エリア単位でのエネルギーマネジメントシステムの整備等について、検討を進める。		
スケジュール	R7年度	R8年度	R9年度
	住宅・事業所へのエネルギーマネジメントシステムの導入促進		
	大規模なエネルギーマネジメントシステムの整備等に向けた検討		
目標値	内容		
	—		
	R7年度	R8年度	R9年度
	—	—	—



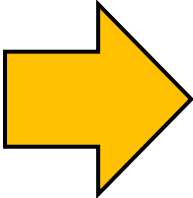
令和8年度

取組項目	ゼロカーボンシティの実現に向けたエネルギー利用の最適化	担当課	ゼロカーボンシティ推進課
現状・課題	近年、全国各地で台風の巨大化や集中豪雨等による災害、猛暑が発生する等、生命や財産を脅かす「気候危機」と言われる状況にあり、被害の拡大を防ぐため、地球温暖化・気候変動に配慮した取組の検討が課題となっている。 本市が令和2年12月に宣言したゼロカーボンシティの実現を目指し、データを活用した省エネ・再エネ等の取組を検討する必要がある。		
取組内容	市内企業の9割以上を占める中小企業に対し、CO2排出量の算定やCO2削減目標の設定などに要する費用を補助することにより、CO2排出量・削減量等の見える化を推進し、中小企業における脱炭素経営の支援を行う。		
スケジュール	R8年度	R9年度	R10年度
	CO2排出量算定・開示及びCO2削減目標設定推進補助事業（仮称）の実施		
目標値	内容		
	CO2排出量算定・開示及びCO2削減目標設定推進補助金（仮称）補助事業者数		
	R8年度	R9年度	R10年度
	15社	30社（累計）	45社（累計）

5 継続する取組の内容（抜粋）

令和7年度

取組項目	窓口DXの推進		担当課	デジタル戦略課 市民課
現状・課題	行政窓口に対する市民ニーズは多様化しており、持続可能な行政サービスの提供に向けた業務改革が重要となっている。また、窓口業務については、業務構造が複雑化していること等から、根本的な課題解決には継続的なBPRを実施し、職員のマインドセットや業務フローの見直し等、包括的な取組が必要である。 このようなことから、令和5年度にデジタル庁の窓口BPRアドバイザー派遣事業を利用して窓口体験調査を実施し、市民目線による現状の把握を行った。また、令和6年1月には、窓口DX推進プロジェクトチームを設置し、「市民にも職員にも優しい窓口」を目標に取組を推進している。			
取組内容	行政サービスの基本となる住民異動や戸籍の届出、各種証明書の交付申請等、連日多くの市民が訪れる市民課業務から取組を開始する。市民課を起点として、業務の棚卸を実施し、複雑化した業務構造を整理するとともに、それぞれの業務フローを把握することに取り組む。 課題を発見・分析した上で、新たな業務フローの再構築を行い、一連の業務フローから簡易に切り分け可能なレイアウトや掲示物等の部分については、アナログでのBPRを検討・実施し、適切なソリューションの導入を検討する。			
スケジュール	R7年度	R8年度	R9年度	
	市民課業務棚卸 アナログBPRの実施	他課におけるアナログBPRの実施検討		
目標値	内容			
	—			
	R7年度	R8年度	R9年度	
	—	—	—	



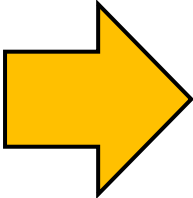
令和8年度

取組項目	窓口DXの推進	担当課	デジタル戦略課 市民課
現状・課題	行政窓口に対する市民ニーズは多様化しており、持続可能な行政サービスの提供に向けた業務改革が重要となっている。また、窓口業務については、業務構造が複雑化していること等から、根本的な課題解決には継続的なBPRを実施し、職員のマインドセットや業務フローの見直し等、包括的な取組が必要である。 このようなことから、令和5年度にデジタル庁の窓口BPRアドバイザー派遣事業を利用して窓口体験調査を実施し、市民目線による現状の把握を行った。また、令和6年1月には、窓口DX推進プロジェクトチームを設置し、「市民にも職員にも優しい窓口」を目標に取組を推進している。		
取組内容	「行かない窓口」の実現に向け、本市公式LINEアカウントを活用した電子申請サービス『スマホ市役所』を導入し、庁内での利用拡大を図る。 市民課においては、本庁舎1階市民課窓口付近にキオスク端末を設置し、窓口混雑の緩和やコンビニ交付の利用促進につなげる。また、「書かない窓口」の軸となる窓口DX SaaSを導入し、RPAによる処理も含めて業務を見直すとともに、市民課のレイアウトを大幅に変更するなど、市民の利便性向上と業務効率化を図る。 令和7年度から試行導入しているAI電話については、検証結果を踏まえ、令和8年度中の本格運用を目指す。 さらに、国保・介護・子育て・学校教育等、住民異動に関連する窓口についても、BPRを実施した上で、順次、窓口DX SaaS導入を検討し、市役所窓口全体の「書かない」、「待たない」化を推進する。		
スケジュール	R8年度	R9年度	R10年度
	スマホ市役所の導入		
	スマホ市役所の利用拡大		
	市民課へのキオスク端末及び窓口DX SaaSの導入		
	住民異動に関連した手続を行う窓口課及び総合センター・支所、その他窓口への窓口DX SaaSの導入		
	市民課レイアウト等の変更		
AI電話の市民課への本格導入			
AI電話の横展開			
目標値	内容		
	窓口DX SaaSによる手続受付件数（市民課分）		
	R8年度	R9年度	R10年度
	11,900件	38,000件	38,000件

5 継続する取組の内容（抜粋）

令和7年度

取組項目	業務改革に資する ツール等の導入	担当課	情報マネジメント課
現状・課題	人口減少や少子・超高齢社会の到来により、生産年齢人口が減少する中、限られた財源や職員数においても行政サービスを維持・向上していくには、効率化による業務改革を実現する環境の整備が必要である。 昨今、生成A I の登場等、我々の働き方の改革に資するような先端技術が生まれているが、それらの導入に当たっては、適切なツールかどうかの検討やルール作りも必要である。		
取組内容	職員の提案や相談等から、業務改革に資する新たなツールやサービスについて、調査や検討等を行う。		
スケジュール	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度
	相談受付・調査・検討		
目標値	内容		
	—		
	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度
	—	—	—



令和8年度

取組項目	生成A I等の活用を見据えたソリューションの検討・導入・展開	担当課	デジタル戦略課 情報マネジメント課
現状・課題	人口減少や少子・超高齢社会の到来により、生産年齢人口が減少する中、限られた財源や職員数においても行政サービスを維持・向上していくには、効率化による業務改革を実現する環境の整備が必要である。 昨今、生成A I等の進展により、業務の高度化・効率化に資する先端技術が生まれているが、その効果を最大化するためには、庁内の業務課題やニーズを把握するとともに、 他都市の先行事例や民間サービス等も含めソリューションを幅広く調査し、費用対効果、業務適合性、セキュリティ、運用体制等の観点から総合的に評価した上で、段階的な導入・検討を進めていく必要がある。		
取組内容	職員の提案や相談等から、業務改革に資する新たなツールやサービスについて、調査や検討等を行う。 業務効率化やサービス向上を目指し、 新たな生成A I サービス等の導入を検討するとともに、DX通信等を通じて、職員が生成A Iの仕組や活用方法を理解し、実践に結び付けられるよう情報提供の機会を充実させる。		
スケジュール	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度
	業務改革に資する新たなツールやサービスの調査・検討		
	AI電話の市民課への本格導入(再掲)	AI電話の横展開(再掲)	
	R9年度の検証結果を踏まえた生成AIサービス等の本格導入		新たな生成AIサービス等における、対象業務選定と試験的導入
目標値	内容		
	①生成A I サービス等を新規導入した件数 ②生成A I (L o g o A I アシスタント等) を利用した文字数		
	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度
	①1件 ②1億2千万文字	①1件 ②1億2千万文字	①1件 ②1億2千万文字

6 令和7年度で掲載が終了する取組

施策	担当課	取組項目	現状・課題	取組内容	理由
施策2 しごとのDX	デジタル戦略課	購買データの活用による サービス提供	レシート情報を中心とした購買データを分析し、その他の顧客データ等と組み合わせることで、顧客のニーズを把握し、より効果的なマーケティングを行うことを目的に、令和4年度に本市が行ったデジタル商品券事業にて、約30万枚のレシートデータを収集し、スマートシティたかまつ推進協議会内にワーキンググループを設置し、同データの効果的な利活用方法について検討してきた。 なお、現時点で効果的なレシートデータの利活用方法については、明確な手法を確立できておらず、引き続きワーキンググループでの検討を進めることにより、購買データを活用した店舗事業者の新たな商品・サービスの創出や、それを支える購買データを把握・活用するための仕組みづくりが必要である。	事業者の中でも、特に小売店の運営は勘や経験に頼る部分が多く（可視化できる細かいデータが少ない）、データに基づく広告・PR等が難しいといった課題を抱えている。高松市南部3町商店街に焦点を当て、収集したレシートデータの分析を進めることで、商店街のプロモーション企画に必要なターゲット層やイベント内容の検討を行う。 また、継続的に購買データを収集する事業の仕組みについて、スマートシティたかまつ推進協議会のワーキンググループにおいて、官民共同で検討を行う。	収集したレシートデータを香川高等専門学校の学生にて分析した結果等を用い、商店街のマーケティングにおいて、より戦略的な販促活動、イベントができないかをワーキングメンバー内で協議している。 しかし、分析結果は得られたものの、継続的なデータ収集手法としてレシートデータが最適であるとの根拠が十分でないことに加え、実証イベント実施に必要な財源確保が課題となっている。このため、施策の実行・検証・改善のPDCAを継続的に回す体制が整わず、当初目的（販促強化による来客数・売上向上）の達成には至っていない。以上を踏まえ、今年度をもって本ワーキングは一旦終了とする。

その他活動



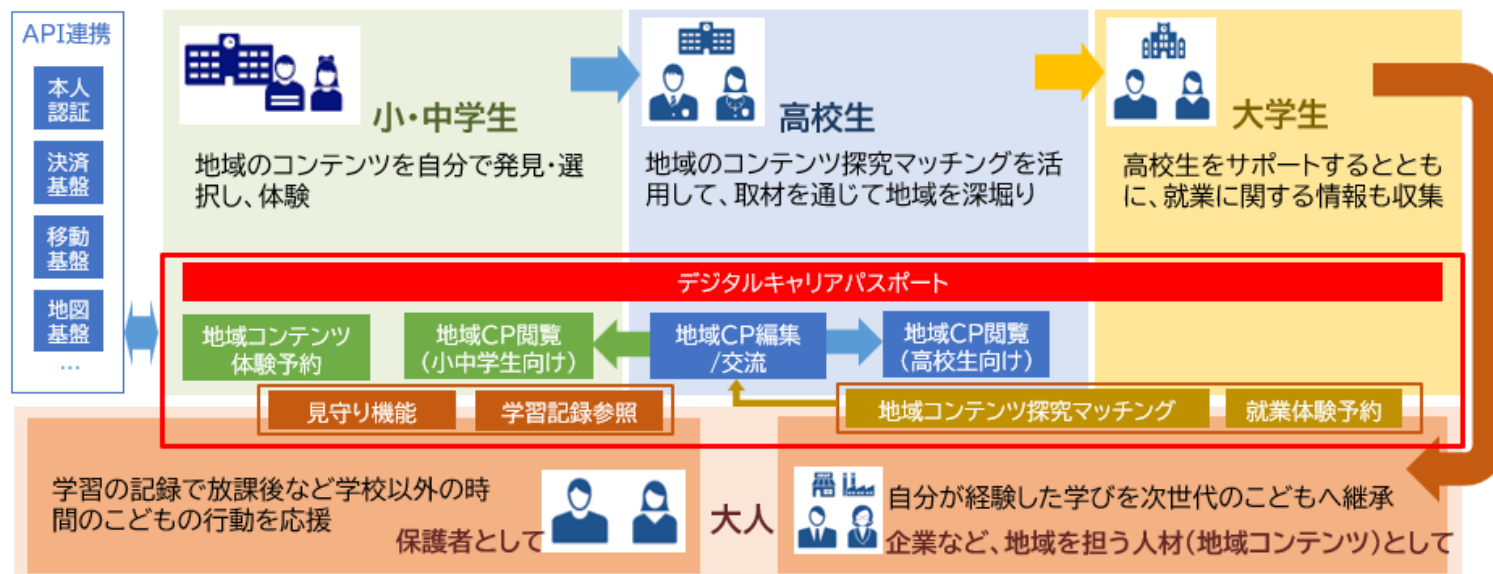
放課後FACT-ory事業の 今後の方針について

1 事業開始時に描いた 放課後FACT-oryの概要

放課後
FACT-ory



■「こどもの学びを地域で支える」地域学習プラットフォーム



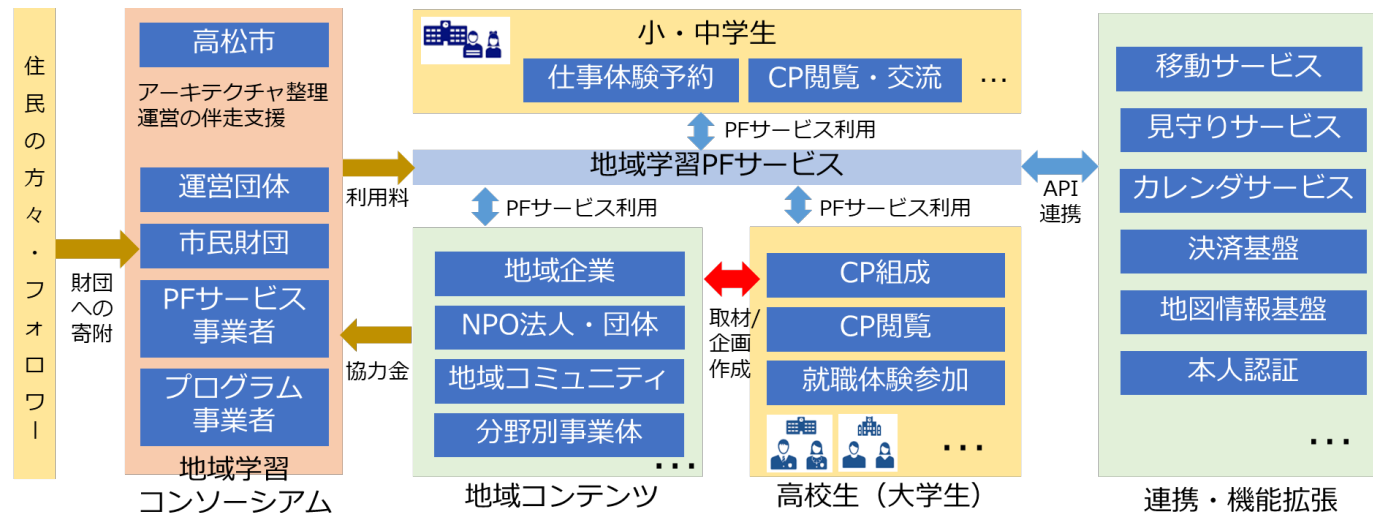
(実施内容)

- ・地域学習プラットフォーム(以下、PF)の構築
- ・PFの利用率向上
- ・地域コンテンツの充実
- ・デジタルキャリアパスポートの構築

地域再生計画上のKPI目標値 (R7年度末)

PF利用者数	地域コンテンツ動画数	こどもたちのこのまちで育って幸せと感じる点数
6,700人	50動画	平均4.0

■事業自走化に向けた実施体制



(実施内容)

- ・事業自走化に向けたマネタイズ手法の確立
- ・地域学習コンソーシアムの設立

地域再生計画上の自主財源目標 (R7年度末)

企業等からの協賛金	市民等からの寄附	PFサービス利用料
10,600千円	752千円	0千円

※R6年度までの実績なし

2 これまでの取組と成果

- これまで各主体が個別に実施してきた取組(点)の趣旨を継承し、多様な分野が無理なく参画できる仕組み(線)の構築を目指し、部分的に地域全体でこどもの学びを支える事業を創出
- 関係者(教員・企業からの参加者等)からは、多くの好意的な意見

小学生とコミュニティ・地域企業・行政を結ぶ取組

【6年生限定】
太田南小学校
チャレンジタイム × 放課後FACT-ory

①いつものチャレンジ

いつもの自主学習！自分で取り組みたい課題を準備し、自学できる力をつけていきます。

②ゴンタとボランティアの部屋

2月2日に開催される「ゴンタと豆まき！COME！加夢！節分祭」の豆まき用の箱をデコレーションしよう！

③郵便の秘密

手紙はどのようにして届くの？郵便の流れを知って、大事な人にお便りを出してみよう！！

④どうぶつしょうぎの部屋

将棋、やってみただけルールがむずかしそう…。そんな人は、ルールを簡単にした「どうぶつしょうぎ」にチャレンジしてみましょう。

⑤知らなきゃ損！保険の仕組み

いざという時に備えるための目に見えない商品『保険』。そんな保険の仕組みをわかりやすく体験しよう！

⑥看護師さんの秘密

看護師さんの働く場所、病院だけじゃないって知ってる？看護師さんになるためには、どうしたらいいの？から看護学校での勉強をちらっとのぞき見。

⑦現代美術の不思議な作品

光ったり、動いたり、素材も様々な作品を紹介！ホンモノの作品に触れますよ！

⑧クッションづくりの部屋

太田南小学校のグリーンライブラリーなどに置くクッションを、ミシンを使って作ろう！(6名限定。参加多数の場合は、抽選してお知らせします)

今回は、どれに挑戦しようかな～

中学生と地域企業を結ぶ取組 高松商工会議所との連携

高松市立屋島中学校×高松商工会議所×
高松市デジタル戦略課 コラボ企画！
～屋島中学校職場訪問直前プログラム～
地域のプロがやってきた！学校が、わたしたちの未来ひらめき工房。



高校生と地域企業を結ぶ取組

高校生のための
デジタル×推し事発見
ワークショップ
ガクチカ向上プログラム
香川県内の高校生を対象に、企業訪問とデジタル学習を通じて自分の将来なりたて姿を見つけていくワークショップを開催します。
さまざまな地元企業を実際に取材して、デジタルを学びながら未来の自分のキャリアや働き方を考えていきましょう。



市内小・中学生が使用するGIGA端末に搭載

おしごと図鑑
香川・高松にある「しごと」を知るための図鑑。
教えてくれる企業の人や、高校生が取材した動画も視聴ができます。
身近なお兄さんお姉さんの視点の「しごと」も見ながら、将来を夢見よう！

放課後FACT-ory
放課後ファクトリーって？

eかみしばい
eかみしばいを作ってみよう！

提供：香川大学

高松まるっとマップ
高松を探索するためのマップ。
高松にあるたくさんの方の魅力やそれを生み出す人を見つけに行こう。
あなたの「行きたい」という思いが冒険につながる！
提供：学校教育課

ちいさなふくろ
地域のお知らせをチェック！

地域のお知らせポケット
週末、夏休み、放課後…いろいろなイベント、体験はまちの中にいっぱい！
行きたいと思ったイベントは、一緒に行きたい大人の人のスマホでもチェック可能です。

このほかにも、放課後時間の秘密基地(コンテンツ)は、まだまだグレードアップに向けて準備中です！

(教員)学校配布物のデジタル化実証実験

紙チラシを一部電子化する
実証事業を実施します

①GIGA端末内の下記アイコンをクリック。



②企業からのおてがみボタンをクリック。



「こどもの学びを地域で支える」地域学習プラットフォームは、こどもたちと地域をデジタルで効率的につなぐツールとして、**今後も継続・発展を図ることが必要**



**プラットフォームが
利用されていない**



**協賛金が
集まっていない**

地域再生計画上のKPI（R7年度末）

目標	PF利用者数	地域コンテンツ 動画数	こどもたちのこのまちで 育って幸せと感じる点数
	6,700人	50動画	平均4.0

目標

実績

約**31,000人**
※ログインしての
利用は進んでいない

22動画

地域再生計画上の自主財源目標（R7年度末）

目標	企業等からの 協賛金	市民等からの 寄附	PFサービス 利用料
	10,600千円	752千円	0千円

目標

実績

800千円
※R7.11月現在
(見込み)

0千円

0千円

令和8年度以降に予定していた事業自走化は、**不可能**と判断

令和8年度は、プラットフォームの維持・管理に要する経費等を
予算要求しており、市費により事業を継続する予定

- ✓ プラットフォームの認知度向上・利用促進
- ✓ 継続的な運用を支える実施体制の見直し に取り組む。

窓口DX(書かない窓口)推進事業における 令和8年度以降の取組内容について

目次

- 1 本市の目指す窓口/取組方針
- 2 窓口の現状・課題
- 3 具体的な解決策と令和8年度以降の取組内容

目指す窓口

実現するための…

誰でも快適に手続可能な、優しいデジタル窓口

デジタルファーストな窓口

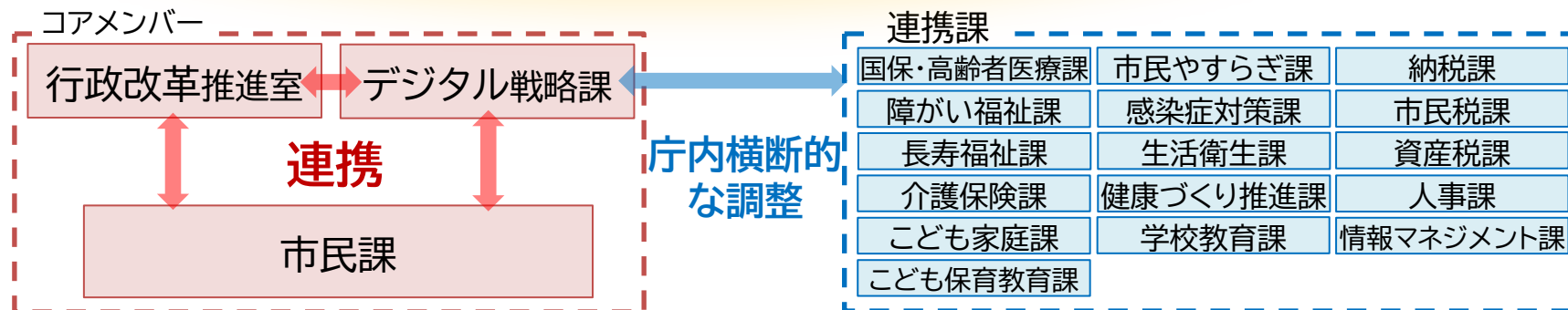
誰一人取り残さない窓口

市民にも職員にも優しい窓口

取組方針

- 1 行かない窓口
- 2 書かない・待たない窓口
- 3 持続的なDX人材育成
※令和7年度中に方針策定予定

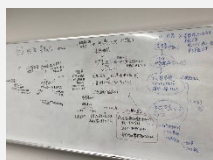
第1歩として**市民課窓口DX**を推進



窓口の現状を把握するため、**市民課BPR**を実施

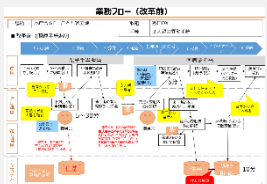
市民課職員が
主体的に実施

現状調査(関係課ヒアリング)
R7.6.5~25

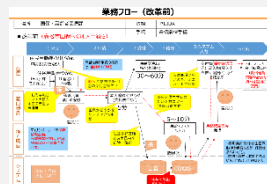


こども家庭課 国保・高齢者医療課

業務フローのまとめ



こども家庭課



国保・高齢者医療課

外国人転入のRPA運用 R7.9.26~

異動者数(異動者数:15人の場合)
窓口受付時間 40分 → 25分
受付時の入力時間 180分 → 90分

システム入力作業
仮入力時間/人 5分 → 2分

手続ガイドの運用 R7.10.20~

「迷わせない窓口」を目指すため、
アナログで、手続ガイドを作成!



現状

市民課

関係課

住民異動届、
それに伴う証明書の発行

住民異動に伴う
各種手続

書かされる
来さされる
待たされる
聞かれる

書類記入
ヒアリング

書類記入
ヒアリング

職員の習熟度
による差

紙なので自動連携できない

標準的な所要時間
【証明発行】10分~15分
【住民異動】30分~60分

窓口業務以外
の即時対応

電話対応
FAX対応

全国的に遅い

反映までのタイムラグ

住民記録
システム

基幹系
システム

課題

- ✓ 来庁者が多く、窓口が混雑しやすい
- ✓ 業務プロセスの効率化・標準化が進んでいない
紙 手続間連携 フォーミット
- ✓ 窓口業務以外の即時対応が多い
電話 FAX(出張所での証明)

具体的な解決策を検討・実施

市民課窓口DXを実現

課題

1 来庁者が多く、
窓口が混雑しやすい



2 業務プロセスの効率化・
標準化が進んでいない



3 窓口業務以外の
即時対応が多い



具体的な解決策

- オンライン手続拡充とコンビニ交付促進 1に対応
- 紙ではなく、データによる窓口受付への転換 2に対応
- 業務フローや窓口レイアウトの抜本的な見直し 2に対応
- バックヤード業務の自動化・効率化 2に対応
- 電話やFAXに関する即時対応の縮減 3に対応

令和8年度以降の取組内容

- 行かない 1 LINE等を活用した電子申請サービスの導入
- 書かない・待たない 2 本庁舎内へのキオスク端末の設置
- 3 窓口DXSaaSの導入
- 4 市民課レイアウトの変更等
- 5 AI電話の導入
- 市民課BPR
実施による
成果

たかまつKIDSプログラミングコンテストの開催

デジタル技術が日々進展していく中、それらを扱う人材の発掘・育成の取組の一環として、本市在住の小学生を対象としたプログラミングコンテストを開催。（6年連続6回目の開催）

協賛



三信電気株式会社

RICOH



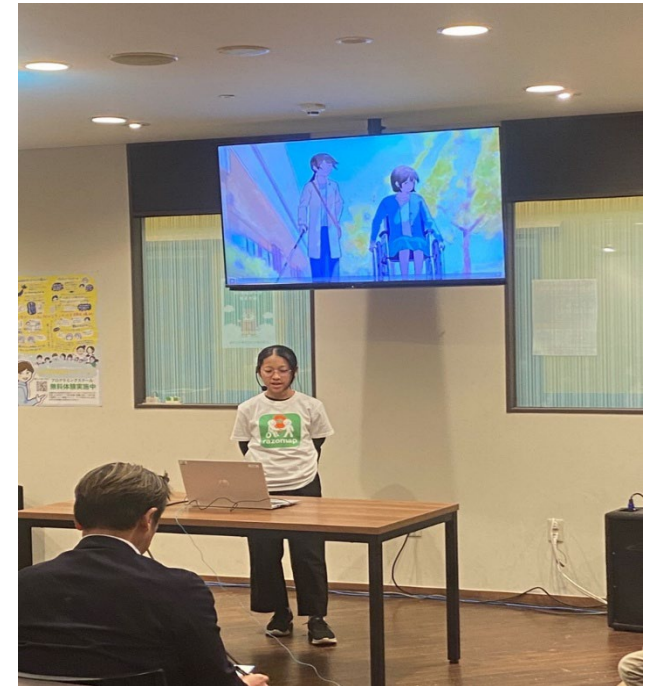
一般財団法人日本フューチャーレジリエンス機構

（順不同）

今年度も、協議会会員の皆様より、多くの ご協賛をいただき、ありがとうございました。



7月1日(月)～エントリー・作品提出開始	
8月24日(日)アイデアソン・もくもく会	5名参加
9月21日(日)もくもく会	6名参加
9月30日(月)エントリー・作品提出締切	18作品提出
11月2日(日)決勝プレゼンテーション・表彰式	10名参加・5名入賞



Pickup!

本コンテストにおいて、「最優秀賞」を受賞した、鎌田 千記理さんが、4年連続で「Tech Kids Grand Prix 2025(全国大会)」のファイナリストに選ばれました！（高松大会からの出場者は他にも準決勝まで勝ち残る等、大きな活躍をされました）